

福祉・介護職員等処遇改善加算にかかる情報公開（見える化要件）

株式会社スーパー・コート

加算の算定状況	処遇改善加算Ⅱ口
---------	----------

①入居促進に向けた取組

職場環境要件	当法人としての取組
法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	法人理念をまとめた冊子をもとに毎日朝礼で理念に沿ったコメントを行い理念浸透を進めている
他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築（採用の実績でも可）	介護関係の有資格者だけにこだわらず適性検査で人物評価を行い幅広い人材を採用している（採用実績あり）
職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施	各種学校や訪問介護員養成校から要望があれば受入れ対応するとともに、施設等で開催するイベントに地域住民の方に参加していただいている

②資質の向上やキャリアアップに向けた支援

職場環境要件	当法人としての取組
働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する各国家資格の生涯研修制度、サービス管理責任者研修、喀痰吸引研修、強度行動障害支援者養成研修等の業務関連専門技術研修の受講支援等	会社独自の資格支援制度を活用し、積極的にキャリアパスを支援している
上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保	施設長等役職者と定期的な1対1の面談を実施している

③両立支援・多様な働き方の推進

職場環境要件	当法人としての取組
職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	正社員転換制度等を就業規則に規定して職員の諸事情に対応できるようにしている
有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消を行っている	GoogleWorkspaceを導入する等情報共有と業務の属人化を解消できるよう取り組んでいる
障害を有する者でも働きやすい職場環境の構築や勤務シフトの配慮	障害特性に応じて勤務できるよう職場環境や勤務シフトに対応できるよう配慮している

④腰痛を含む心身の健康管理

職場環境要件	当法人としての取組
業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	外部通報窓口を設置するなど相談体制を整備している
福祉・介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援やリフト等の活用、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施	年間研修計画で腰痛対策の研修等を実施するとともに、社内資格制度（ケアマイスター）を導入して介護技術の向上に取り組んでいる
事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	事故対応マニュアルなど各種マニュアルを整備している

⑤生産性向上のための取組

職場環境要件	当法人としての取組
現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している	毎日業務終了前に振り返り会議を実施し、現場課題の抽出、改善に努めています
5S活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備を行っている	マニュアル等を整備するとともに、5S委員会を設置し、職場環境の整備に取り組んでいる
業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている	タブレット端末による介護記録で作業負担を軽減するとともに、Google Workspaceの活用により、職員間でリアルタイムな情報共有を行っている
業務支援ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの。）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入	業務支援ソフトを導入するとともに、タブレットを活用して業務記録の入力を行っている
介護ロボット（見守り支援、移乗支援、移動支援、排泄支援、入浴支援、介護業務支援等）又はインカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器（ビジネスチャットツール含む）の導入	GoogleWorkspaceを活用して職員間の連絡調整の迅速化を図っている

⑥やりがい・働きがいの醸成

職場環境要件	当法人としての取組
利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	年間研修計画を策定して利用者本位のケア方針や法人理念について計画的に研修している
ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	お客様からの感謝の声を「SCへの声」として取りまとめ、その内容を職員全員で共有している